

自覚を持ち安全行動 表彰や講演で意識向上

県アス合協会

県アスファルト合材協会(石津健光会長)は10月28日、第32回安全大会を水戸ドライブインで開催した。会員60人が出席し、安全工場や安全標語を表彰したほか、特別講演などで安全意識の高揚を図った。



安全大会
2024年度

冒頭、佐藤敏治労働安全環境委員長(写真中央)は「病気になる前にも、一刻も早く発見して対処することが非常に重要。早ければ

早いほど治る可能性が高くなる。違和感があったら迷うことなく医療機関に行つてほしい」と述べ、「労働災害なくするために最も重要

なのは、働く一人一人が安全に対して真摯に向き合っていること。安全も健康も一人一人が責任者という自覚を持って行動していただきたい」とあいさつ。

続く表彰式では、皆川容徳副会長(写真右)が最優秀工場や優秀工場、安全標語などの受賞者を表彰した。

皆川副会長は「作業に慣れていると思わぬミスが発生することもある。そうしたミスを防ぐ効果を発揮するのが安全標語。受賞作品をぜひ毎朝、口に出して読んでいただきたい。これから冬を迎え、繁忙期となるが、焦らず、慌てず、安全第一を心がけてほしい」と述べた。

夫工場長は「今回の受賞を契機に、おごることなくさらに安全活動に努め、安全安心な合材工場、働きやすい職場環境となるよう、従業員一同、一丸となって努力してまいります」と謝辞を献じた。

来賓の狩野直美茨城労働局労働基準部健康安全課長(写真左)は、茨城労働局版の第14次労働災害防止



▲富永氏が謝辞を献じた



推進計画の概要や今年の県内労働災害発生状況などを説明。「これから年末年始にかけて忙しくなると思うが、無災害を継続してほしい」と結んだ。

最後に、鈴木峰治労働安全環境委員が安全宣言を読み上げ、参加者全員で安全標語を口にし、ゼロ災害に向けて一丸となって努力することを誓った。

休憩後はコント山口君と竹田君による特別講演「思い込みがミスの素」が行われた。コント山口君と竹田君は今年でデビュー40周年。軽妙なやりとりとコントで会場を大爆笑させつつ、思い込みをしないことの大切さを訴えた。

受賞者は次のとおり(敬称略)。

【最優秀工場賞】
■株式会社野田合材

【安全標語表彰】
■安全標語表彰
【最優秀作】

良樹(株式会社山工務店)
■エコ運転 みんなの意識が節約に!! 並木敏幸(トーマスアスコン)

でも遊び寄る 見つけてつぶして ゼロ災害!! 小林由紀子(鈴縫工業株式会社)

【最優秀工場賞】
■関東道路株式会社

立アスコン(株)
■ちよとエコ 小さな気付きで大きな変化 未来へ残そう綺麗な地球!! 布施大樹(前田道路・秋山工務店JV東海合材工場)

【最優秀工場賞】
■株式会社野田合材

【安全標語表彰】
■安全標語表彰
【最優秀作】